

バックアップ装置

バックアップ装置

1.概要

型名	製品名
内蔵 DAT	
N8551-12BC	内蔵 DAT
N8551-26	内蔵 DAT
外付 DAT	
N8560-12AC	外付 DAT
N8560-22	外付 DAT
外付 DAT 集合型	
N8560-13AC	外付 DAT 集合型
N8560-23	外付 DAT 集合型
外付 DLT	
N8560-14	外付 DLT
外付 DLT 集合型	
N8560-11	外付 DLT 集合型
N8560-15	外付 DLT 集合型
内蔵 MO	
N8551-25	内蔵 3.5 インチ MO
内蔵 DVD-RAM	
N8551-32	内蔵 DVD-RAM
内蔵 CD-RW	
-	内蔵 CD-RW

2.機能仕様

DAT

	N8551-12BC	N8551-26
形態	内蔵単体	内蔵単体
規格	DDS1/2/3	DDS1/2/3/4 *4
非圧縮時容量(GB)	2/4/12	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB) *1	4/8/24	4/8/24/40
実効転送速度 *2	1.18MB/s *3	2.36MB/s *3
カートリッジ収容数	-	-

	N8560-12AC	N8560-22
形態	外付単体	外付単体
規格	DDS1/2/3	DDS1/2/3/4 *4
非圧縮時容量(GB)	2/4/12	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB) *1	4/8/24	4/8/24/40
実効転送速度 *2	1.18MB/s *3	2.36MB/s *3
カートリッジ収容数	-	-

	N8560-13AC	N8560-23
形態	外付集合型	外付集合型
規格	DDS1/2/3	DDS1/2/3/4 *4
非圧縮時容量(GB)	2/4/12	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB) *1	4/8/24	4/8/24/40
実効転送速度 *2	1MB/s *3	3MB/s *3
カートリッジ収容数	6	6

*1)平均圧縮容量は圧縮比率を 2:1 と仮定した場合の値。

*2)実効転送速度は非圧縮時の値。

*3)DDS3 カートリッジテープを使用した場合の値。

*4)DDS1 テープは読み込み(READ)のみ可能。

DLT

	N8560-14	N8560-11	N8560-15
形態	外付単体	外付集合型	外付集合型
規格	DLT7000	DLT4000	DLT7000
非圧縮時容量(GB)	35	20	35
平均圧縮容量(GB) *1	70	40	70
実効転送速度 *2	5MB/s	1.5MB/s	5MB/s
カートリッジ収容数	-	5	7

*1)平均圧縮容量は圧縮比率を 2:1 と仮定した場合の値。

*2)実効転送速度は非圧縮時の値。

MO

		N8551-25
形態	内蔵	
記憶容量	128MB/230MB/640MB	
インタフェース	SCSI-2	
データ転送速度 (SCSIBUS 上)	20MB/sec	20MB/sec
	5MB/sec	5MB/sec
平均実行速度	2.94-4.90MB/sec	
バッファサイズ	2016KB	
ディスク回転数	4558rpm	
平均シーク時間	23ms	
平均回転待ち時間	6.6ms	

DVD-RAM

		N8551-32
形態	内蔵	
許容機能	DVD-RAM(読み込み・書き込み)	
	DVD-ROM/CD-ROM/CD-R/CD-RW(読み込み)	
記憶容量	2.6GB/4.7GB	
インタフェース	IDE	
データ転送速度	UltraDMA モード 2	33MB/sec
	PIO モード 4	16.6MB/sec
平均アクセスタイム	DVD-RAM	210ms
	DVD-ROM	190ms
	CD-ROM	150ms
連続データ転送速度	DVD-RAM	2.77MB/sec(4.7GB/面 ディスク)
		1.38MB/sec(2.6GB/面 ディスク)
	DVD-ROM	8.31MB/sec(6×) max.
	CD-ROM	3.60MB/sec(24×) max.
バッファメモリ容量	2MB	

CD-RW

		-
		標準実装モデルのみ
形態		内蔵
記憶容量		640MB
インタフェース		IDE
平均アクセスタイム		160ms
データ転送	CD-ROM 時	Sustained 2,100 ~ 4,800KB/S (最大 3 2 倍速) *CD-RW は最大 20 倍速
		Burst 16.7MB/S
	CD-R 時	Burst 16.7MB/S
		1.2MB/S(CD-R), 600KB/S(CD-R/RW) 300KB/S(CD-R/RW), 150KB/S(CD-R/RW)
ライトスピード		8 倍速(1,200KB/S)/ 4 倍速(600KB/S) 2 倍速(300KB/S)/ 1 倍速(150KB/S)
リライトスピード		4 倍速(600KB/S)/ 2 倍速(300KB/S) 1 倍速(150KB/S)
バッファメモリ容量		2MB

3.動作環境

バックアップ装置とバックアップソフトの対応は以下の通りです。組み合わせにご注意ください。

	型名	製品名	NT Backup		ARCserve						
			Windows NT 4.0	Windows 2000	ARCserve J6.0	Changer Option J2.0	ARCserve J6.5	Tape Library Option J3.0	ARCserve/T 6.61 for Windows NT/2000 *8	ARCserve 2000	Tape Library Option
対応 OS	Windows NT 4.0			-							
	Windows 2000		-		-		-		*6		
DAT	N8551-12BC	内蔵 DAT	*1		*2	-	-	-			-
	N8551-26	内蔵 DAT			x	-	x	-	*7		-
	N8560-12AC	外付 DAT	*1		*2	-	-	-			-
	N8560-22	外付 DAT			x	-	x	-	*7		-
	N8560-13AC	外付 DAT集合型	x		*3						-
	N8560-23	外付 DAT集合型	x	x	x		x		*7		-
DLT	N8560-14	外付 DLT	x	x		-		-			-
	N8560-11	外付 DLT集合型	x	x							-
	N8560-15	外付 DLT集合型	x	x	x		*4				-

	型名	製品名	Backup Exec				
			Backup Exec 7.0J	オートロータオプション	Backup Exec 7.3/7.2	オートロータオプション	Backup Exec 8.0
対応 OS	Windows NT 4.0						
	Windows 2000		-		-		
DAT	N8551-12BC	内蔵 DAT		-		-	
	N8551-26	内蔵 DAT	*5	-	*5	-	
	N8560-12AC	外付 DAT		-		-	
	N8560-22	外付 DAT	*5	-	*5	-	
	N8560-13AC	外付 DAT集合型					
	N8560-23	外付 DAT集合型					
DLT	N8560-14	外付 DLT		-		-	
	N8560-11	外付 DLT集合型					
	N8560-15	外付 DLT集合型					

*1 :Windows NT 4.0 ではテープデバイスに「4mm DAT ドライブ」を選択願います。

*2,*3: *2 は ARCserve J6.0 Service Pack1 以降(SP3 推奨)、*3 は ARCserve J6.0 Service Pack3 を適用願います。

*4:ARCserve J6.5 Patch05 以降(Patch07 を推奨)

*5 :ベリタス社のホームページ(<http://www.veritas.com/jp/>)より最新ドライバをダウンロード願います。(7.0, 7.2 を使用の場合)

*6:ARCserve/IT の Windows2000 対応版(W2K 専用)を手配願います。

*7:Windows2000 版では標準サポート、WindowsNT では build 893 へのアップデートと Patch02 以降を適用願います。WindowsNT 版 build 893 は ESS RL2000/06 に収録されているほか、コンピュータ・アソシエイツ社ホームページより体験版を申し込む事で入手できます。ESS RL2000/03 以前でインストールしている場合は ESS EL2000/06 以降またはコンピュータ・アソシエイツ社より入手した体験版を上書きインストールしてください。

*8:ディザスタリカバリオプションは未対応です。

ARCserve の Service Pack、修正モジュールは ESS に添付されていますが、コンピュータ・アソシエイツ社のホームページ(<http://www.caj.co.jp/>)からもダウンロードできます。

Backup Exec の修正モジュール、ドライバはベリタス社のホームページ(<http://www.veritas.com/jp/>)からダウンロードできます。

注 :ARCserve/IT、ARCserve でリストアの際は、バックアップ時と同型の装置をご使用下さい。異なるテープ装置間でのデータ交換はサポートしていません。ARCserve/IT、ARCserve ではテープ装置種別により制御方法が異なるため、同一規格のテープを使用しても、別種類の装置ではエラーが発生する、テープを認識できない、リストアできないという現象が発生する場合があります。

ARCserve/IT に関する情報を Web サイト(<http://www.ace.comp.nec.co.jp/product/3rd/ARCserveIT/>)で公開しています。